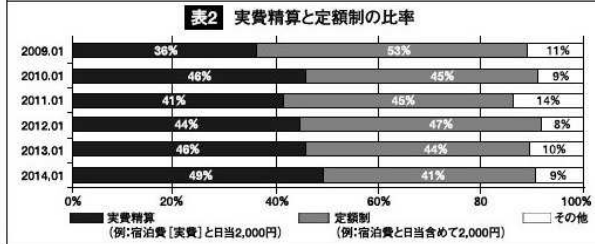
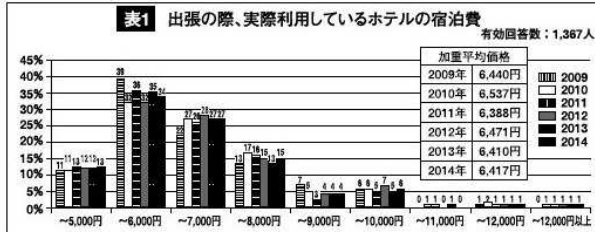


「出張時の宿泊費」平均は6417円。「実費精算」がトレンド

Aカードホテルシステムが「ビジネスマンのホテル利用実態」調査



このアンケートは毎年行っているもので、今年も2014年1月8日から13日の間、会員へのインターネットによる回答を集計した。有効回答数は1568人で男性93%・女性7%、職業別では「会社員」(77%)、「自営業」(2%)、「役員」(5%)、「主婦」(1%)、その他(8%)だった。

一方東京・大阪以外のホテルでの平均は7455円となり、東京・大阪の都市部のホテルも、いずれも昨年と比較する

と減少傾向にある。また「実際に利用している宿泊費」の平均が6417円となり、勤め先の出張規定と、実際の利用金額には、1400円〜2300円程度の開きがあることが判った。

「実費精算と定額制の比率」に関しては、実費精算が前年2013年の調査の46%から、今回49%に上昇した。同社の内藤氏によれば、「2000年の調査開始以来、年々実費精算の比率が高まっており、かつ定額制の比率が大きいことが鮮明に判明しました。これは企業経営削減の効果で、目下かなりつよまるといえるが言えます」。

また実費精算と定額制の宿泊料金を平均と比較したところ、実費精算の方が、定額制(5000円、6000円)より2000円高い、6000円となり、出張規定の違いに実費精算の宿泊料金の違いは拡大傾向にある。つまり出張規定内で同じ金額ならば、なるべく高い部屋に泊まるという心理が働いているという。



執行役員 内藤信也氏



▲会費は46万5千円

Aカード

Aカードホテルシステムが運営する、独立系ホテルを中心としたポイントカード。ポイント還元が現金で行われることが大きな特徴。加盟ホテル・レストランも10店舗を突破し、会員数は46万人を超えている。主な利用者は30代、50代で、

同じホテルを利用したいと思う理由

「同じホテルを利用したいと思う理由」として、「同じホテルを利用したい」という理由が最も多かった。また、「設備・雰囲気」「特典や泊料金を抑えてもらいたい」という理由も多かった。

表4 顧客が望むハード・ソフト面のリクエスト

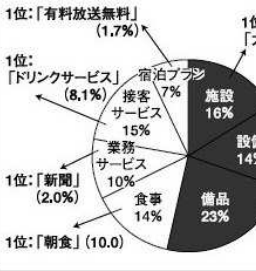
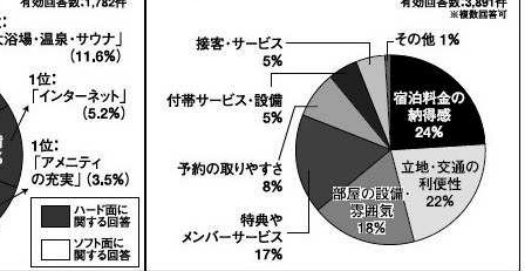


表3 同じホテルを利用(リピート)したいと思う理由



第19回 A-カードトップ会 開催

加盟店450店舗、会員46万人に

お土産代に充てたいが、それが全体の約5割を占めた。一方で、「高くて良い部屋に泊まりたい」「2泊以上泊まりたい」(23%)、出張の範囲内で、なるべく高い部屋に泊まるといった要望も多かった。また、「設備・雰囲気」(18%)も合わせると、宿泊サービスに求める理由が、必ずしも安価な宿泊サービスに求められていることがわかった。

「宿泊料金を抑えてもらいたい」という理由も多かった。また、「設備・雰囲気」「特典や泊料金を抑えてもらいたい」という理由も多かった。

お土産代に充てたいが、それが全体の約5割を占めた。一方で、「高くて良い部屋に泊まりたい」「2泊以上泊まりたい」(23%)、出張の範囲内で、なるべく高い部屋に泊まるといった要望も多かった。また、「設備・雰囲気」(18%)も合わせると、宿泊サービスに求める理由が、必ずしも安価な宿泊サービスに求められていることがわかった。

お土産代に充てたいが、それが全体の約5割を占めた。一方で、「高くて良い部屋に泊まりたい」「2泊以上泊まりたい」(23%)、出張の範囲内で、なるべく高い部屋に泊まるといった要望も多かった。また、「設備・雰囲気」(18%)も合わせると、宿泊サービスに求める理由が、必ずしも安価な宿泊サービスに求められていることがわかった。



▲オリジナル菓子 ▲全国から120名が集結